



さまざまな説が飛び交った討論会

衣川地区振興会（佐藤利男会長）は11月21日、いまだ謎が多い「衣のたて」を探るイベント『「衣のたて」はどこなのか?』を開催しました。安倍館、一首坂などの伝承地を巡るウォーキングや講演会などが行われ、参加者らが歴史への理解を深めました。

「衣のたて」は、前九年の役で安倍貞任と源義家が詠み合った和歌の中に登場する安倍氏の拠点で、詳しい場所は分かっていません。衣川荘で行われた講演の部では、「衣のたて」に関する斉藤利男弘前大教授の講演や最新の研究結果に基づいた討論会が繰り広げられ、参加者の関心と呼んでいました。

和歌の一節に思いを巡らせ
「衣のたて」を探るイベント

まちの話題



白鳥館遺跡・鮎まつり（同実行委員会主催）は11月7日、国史跡・白鳥館遺跡と白鳥地区防災センターを会場に開催されました。約700人が来場し、1日をとおして行われた歴史体験イベントを楽しみながら中世へ思いをはせました。

このイベントは、白鳥館遺跡に親しみを持ってもらおうと、市や地元住民が協力して、初めて開催したものです。「白鳥館の市」と名づけられた物産販売会場では、地元住民や市世界遺産ガイドの会の会員が中世衣装を身にまとい、北上川産天然アユの塩焼きや芋の子汁、野菜販売などで来場者をもてなしました。

遺跡会場では、遺跡を利用した宝探しや弓的当てなど、中世をイメージした体験イベントが行われたほか、白鳥子ども神楽や歴史講談などが披露され、まつりを盛り上げました。

遺跡の魅力を楽しく伝える

白鳥館遺跡・鮎まつり



歴史を感じる景観の中行われた弓矢まと当て体験

石碑に刻む学びやの思い出

胆沢高校で閉校記念碑除幕式

平成22年3月に閉校する胆沢高校（在原眞校長）の閉校記念碑除幕式は11月8日、生徒や学校関係者ら約80人が出席する中、同校正面玄関前で行われました。

来賓を含む9人が除幕を行い、校歌の一節「わがまなびや胆沢」が刻まれた記念碑が披露されました。生徒会長の佐藤冠太郎さんが「学校が無くなるのは寂しいが、卒業までにより多くの思い出をつくりたい」とあいさつ。その後、全員で校歌を合唱しました。胆沢高校は、昭和23年の創立以来、3,697人の卒業生を輩出。本年度末に卒業する17人の生徒を最後に、開校から34年、創立61年でその歴史に幕を下ろします。



生徒会長の佐藤さんがあいさつ

牛への思い女性たちが語る

東北ブランド牛シンポジウム



自らの体験を語った及川さん(中央)

牛飼い女性に着目した「東北ブランド牛シンポジウム（牛の博物館など主催）」は11月26日、約200人が出席する中、前沢ふれあいセンターで開かれました。

元岐阜県肉用牛試験場長の中丸輝彦氏が「飛騨牛のブランド化の取り組みと活動する女性たち」と題して講演したほか、東北でブランド牛を飼育する女性たちによる討論会などが行われました。討論会では、前沢区の及川光子さんが「東京市場で見たA5ランクの肉質を忘れずに、自分の出荷した牛と比較しながら取り組んできた」と発言。それぞれのブランド牛を支えてきた女性たちが牛への熱い思いを語り合いました。

自慢の鉄道模型が勢ぞろい

鉄道フェスタ2009

例年、この時期に行われている人気イベント「鉄道フェスタ2009（岩手鉄道模型仲間の会など主催）」は11月22日と23日の両日、市文化会館（Zホール）で開かれました。

鉄道模型の運転展示や三陸鉄道25周年企画展、駅弁の販売など鉄道に関するさまざまな催しが行



目の前を走る鉄道模型に夢中

われ、たくさんの親子連れや鉄道ファンでにぎわいました。鉄道模型の運転展示コーナーでは、街並みを軽快に走り抜ける新幹線や在来線の姿に、大人も子どもも夢中になって見入っていました。会場内の照明を落として鉄道模型を走らせる夜間運転も1日に4回行われ、幻想的な雰囲気で見物者を楽しませました。

江刺りんごが最高価格更新

江刺りんご初競り

江刺りんごの初競りは11月7日、盛岡市中央卸売市場で行われ、相原正明市長や及川義弘JA江刺組合長、生産者ら約75人が出席しました。

威勢のいい掛け声で、出品されたサンふじ333箱、シナノゴールド222箱が次々と競りにかけられ、最高品質のサンふじ特選28玉（10^{kg}）に80万円の史上最高値が付くと、市場関係者から大きな拍手が沸きあがりました。ことは10月上旬の台風18号の影響で落果被害があり、品質が心配されましたが、市場関係者からの高い評価を受けて、絶好のスタートを切ることができました。



威勢のいい掛け声飛び交った競り